

# 第 1 1 回教育委員会臨時会議事要録

詳細 教育総務部教育総務課 電話 0 3 - 3 9 8 1 - 1 1 4 1

附属機関又は 会議体の名称	教育委員会臨時会	
事務局（担当課）	教育総務部教育総務課	
開催日時	平成 2 1 年 9 月 2 4 日 午後 2 時 0 0 分	
開催場所	教育委員会室	
出席者	委員	三神 和子（委員長）、加藤 正克（委員長職務代理者）、 清田 明、廣田 悦造、三田 一則（教育長）
	その他	教育総務部長、教育総務課長、教育指導課長、学校運営課長、 学校施設課長、統括指導主事 2 名
	事務局	教育総務課庶務係長、教育総務課庶務係主任主事
公開の可否	公開 傍聴人数 2 人	
非公開・一部公開の 場合は、その理由		
会議次第	1 . 第 5 4 号議案 豊島区立長崎小学校衛生推進者の選任について 2 . 第 5 5 号議案 臨時職員の任免 3 . 報告事項 平成 2 2 年度区立小中学校入学相談・説明会の開催結果について 4 . 報告事項 新型インフルエンザの対応について 5 . 報告事項 新型インフルエンザによる学年・学級閉鎖に伴う 授業時数の確保について	

## 審議経過

委員長)

第11回教育委員会臨時会を始めます。本日の署名は加藤委員と清田委員にお願いいたします。傍聴希望の方が2名いらっしゃいますが、よろしいでしょうか。

(委員全員了承)

### (1) 第54号議案 豊島区立長崎小学校衛生推進者の選任について

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

衛生推進者に選任されるのは、養護教諭が多いのでしょうか。

教育指導課長)

これは校長の推薦により、必要な能力を有する者ということで、約半数が副校長、残りが養護教諭または主任養護教諭でございます。保健主任が選任されているところもあります。

委員)

副校長が約半数いるとのことですが、職務として妥当なのでしょうか。養護教諭の方が専門性をお持ちだと思いますが、副校長を推薦する意図は何でしょうか。

教育指導課長)

職員の健康診断が義務付けられておりまして、その結果を保管し、健康状態の把握をするのは養護教諭でございますので、そういった能力や専門性は高いと思います。これは学校衛生委員会でございますので、職員の長期労働や退勤時間の把握をしているのは副校長になります。また、職場状態や換気状態、施設状況等を管理しているのは副校長となります。

委員)

学校は組織で動いていますので、副校長だけでなく、養護教諭の意識を高めてもっと選任されるべきだと思います。

委員)

衛生推進者は健康管理のみならず、労働環境の把握というのも役割の1つなのではないでしょうか。

教育指導課長)

公務災害が起きたときに、学校衛生委員会で検討をしなくてはなりません。そういう意味では施設面の管理も含まれます。

委員長)

それではよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 第54号議案了承)

### (2) 第55号議案 臨時職員の任免

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

人を確保するためにも、人材銀行を作り、すぐに連絡がとれる体制を作った方がよいと思います。豊島区独自の質の高い人材を確保することが必要だと思います。

教育指導課長)

教育支援員は登録制でございまして、その登録の中からその学校にふさわしい人が紹介できることが一番望ましいと思います。教育支援員は周辺の区でも同様の事業を展開しておりまして、人の確保はなかなか難しい現状にあります。学校としては、子どもとかかわり、体力を必要とするので、若手を希望しています。事務局としては、できるだけ多く登録を募り、そこから優秀な方を派遣できるよう努めてまいりたいと思います。質的向上としては、今年度8月に教育支援員の研修会を開きました。教育支援員の趣旨を確認し、お互いに情報交換をいたしました。

委員長)

教育支援員はどのように募集しているのでしょうか。

教育指導課長)

ホームページで常時登録者を募集しています。豊島区は働きがいがあるということを宣伝していきたいと思います。

委員長)

大学には働きたい人ネットワークというものがあると思います。こういうものを活用するといいと思います。

教育総務課長)

教科指導だけでなく、人材活用という点から、地域人材をどう活用するかということは教育ビジョンの課題となっております。難しい課題ですが、いかに地域人材を活用していくか、そのシステム作りについても今後検討していきたいと思います。

委員長)

それではよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 第55号議案了承)

(3) 報告事項第1号 平成22年度区立小中学校入学相談・説明会の開催結果について

< 学校運営課長 資料説明 >

委員長)

ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

教育長)

小中学校の入学相談会・説明会におきましては、小学校、中学校とも充実したプレゼンテーションで、保護者が欲しい情報を的確に示していました。参加者数も昨年と同じ程度ありました。こういう形態の説明会を各学校で行っている地区もありますが、豊島区では区教育委員会と小中学校長会が責任をもって説明し、その後に相談ができる体制をつくっています。相談件数、内容につきましては学校によって差がありますが、学校の特色をアピールできる場であると前向きにとらえていきたいと思います。

教育総務部長)

季節柄、インフルエンザが流行っておりまして、アルコール消毒液の設置とマスクの配布をいたしました。注意喚起という意味では非常に効果があったと思います。

委員)

私も説明会に参加させていただきましたが、出した資料を全部説明するのはくどいと思います。例えば中学校の改築計画についても全部説明するのではなく、これからやっと小学校に入学するわけですから、直近の計画のみを説明すればよいと思います。そうすれば時間の短縮もでき、資料を有効に使いながら、相談時間も多とることができます。アンケートの集計報告を見ると、「十分相談できた」と「まあまあ相談できた」を合わせても30%です。その他、無回答の60%をいかに減らしていくかを考えていくためには、時間の有効な使い方によると思います。説明をコンパクトにして、相談に時間を多くかけられるようにして欲しいと思います。

学校運営課長)

改築の説明についてはごもっともであり、教育長からも指摘を受けましたので、来年度は小学校6年間、中学校3年間の教育を中心に説明できますよう改善していきたいと思っております。また個別相談についてですが、これはアンケートの設計を工夫する必要があると思っております。説明会に出た方全員にアンケートを配り、その中の一部の方が個別相談に流れております。それが明確には分からないアンケート設計であったと考えております。全体で350名の来場で、そのうち92名が個別相談へまわりました。全体数から個別相談を受けた方が特定されないと、相談が十分にできた、相談がまあまあできた割合というのが検証し難いので、今後は改善していきたいと思っております。

説明会自体に対しては、大変良いと良いを合わせて87%のご賛同を得ております。改善点とともに個別相談について確認できるようなアンケート設計をして、内容を精査していきたいと思っております。

委員)

隣接校選択制については、続けた方がよいという割合が非常に高くなっています。隣接校選択制を始めてから10年近く経ちますので、ただ続けていくのではなく、中身を検討していくべきです。説明会に来られる方は非常に意識が高いと思いますので、隣接校選択制を承知の上で説明会に参加していると思います。現行の隣接校選択制でよいのか、さらに考える余地があるのか、もう一度検討していただき、さらに良い豊島区を選択制を考えて欲しいと思います。

委員)

隣接校選択制を続けた方がよいと答えた理由に、定期的に適正な評価と結果の公表をしてほしいとあります。これはもっともな意見だと思います。今までやってきたことを振り返り、時代の流れに即した隣接校選択制を考えていくべきです。このアンケートの結果は各学校にも知らせるのでしょうか。

学校運営課長)

次回の校長会にて示す予定です。

委員)

こういう意見があったことは大事なことです、それに応えていってほしいと思います。

委員)

個別相談の中に、アレルギーにおける学校給食についての相談があります。実際にアレルギーの子どもに対しては、どのような対応をしているのでしょうか。

学校運営課長)

アレルギーにつきましては、医師の証明により対応をし、基本は除去食となっております。可能であれば個別に代替食ということもあります。

委員)

隣接校選択制について、目白小の人気について検討してほしいという声があります。理由としてはどんなことが考えられるのでしょうか。

教育総務部長)

以前から人気があり、区外からの入学も多いです。隣接校選択制を始めてから10年になりますが、個別の学校で人気集中し、上限40名ということで抽選にしております。昨年は40名以内のため抽選は行いませんでしたが、これまでの教育活動や進学先により人気が高いと思われます。

委員長)

中学卒業後の進路については、どの程度公表しているのでしょうか。

学校運営課長)

学校説明会の会場において直接説明することはございませんが、配布した学校案内の資料の中に進路先を円グラフで示しております。当日は大ホールでの説明のあと、それぞれの学校のブースを設けて、個別相談ができるようになっておりますので、さらに詳しいことが知りたい場合はそちらで聞くこともできます。また、会場には学校要覧を置かせていただきましたので、こちらには進路先がそれぞれ記載されております。

委員長)

進路先の示し方としては、公立、私立高校に % という記載の仕方なのでしょうか。

学校運営課長)

学校案内や学校要覧においては、具体的な進学先の学校名を公表はしておりません。

委員)

「学校説明はいかがでしたか」という問いに、各学校のことを詳しく知りたい、各学校の特色を知りたいとあります。それぞれの学校の生徒に参加してもらい、自校のPRをしてもらうことはできないのでしょうか。

学校運営課長)

この学校説明会は区立学校全体の説明をするという趣旨でございます。こういった希望がアンケートの結果にもあらわれておりますので、内容を吟味しながら中学校長会にも伝えていきたいと思っております。

委員)

現在は高校の進学率は高いと思いますが、国立・私立・公立の高校の進学先をパーセンテージで示されても分かりにくいので、ある程度具体的に学校の名前や人数等を示していくべきだと思います。入学して1年半後くらいにはある程度進路先を決めなくてはなりませんので、将来をイメージしやすいような情報を示していくべきだと思います。

教育指導課長)

高校入試においては、どこの大学に進学したということはホームページにも公表しております。そういった進路に向けての教育課程が各学校で違いますので、理系重視、文系重視、選択教科を増やす等があります。高校入試の場合は自分でどこの学校にするかを選べますが、公立中学校の教育目標は名の知れた学校に進学することが目的ではありません。校内では、子どもたちは先輩たちがどこの学校へ進学したかということ参考にしていくわけですが、それを外部に示してしまうと競争をあおる恐れもあります。学校要覧においても校名をあげることなく、慎重に取り扱っております。

委員長)

進路先を個別にうかがえば、個人でも教えてくれるのでしょうか。

教育指導課長)

進学指導の資料として在校生の生徒及び保護者には知らせることはありますが、それを外部の方に知らせるといったことはありません。

委員長)

具体的な校名をあげることができないのであれば、卒業生はどのような職業に就いていて、こういう仕事をして活躍しているなどの情報を知らせることはできないのでしょうか。

教育指導課長)

高等学校は、このカリキュラムで教育すれば例えば業界で優秀なエンジニアになれる、また科学教育に長けていてノーベル賞を取ったり、文武両道を基本として芥川賞など取った卒業生がいるということは、その学校のカラーとして校風や教育課程がそれに繋がっているといえると思います。高等学校は各校の教育課程が異なりますが、区ごとに公立中学校は基本となる教育課程、教科書は全く一緒であり、いろいろな可能性を秘めておりますので、いろいろな進路先を選ぶことができます。高等学校における進路先や卒業生の特色などを示すことは一定の意味があると思います。ただ、公立中学校は国の基準の授業時数を基に日本全国同じでございます。どの子どもにもチャンスがあり、どの子どもも頑張っていかなければなりませんので、個別の進学先を公表することに関しては慎重に扱っている現状がございます。

教育長)

現在教育ビジョンの検討を行っておりますが、豊島区の教育をどういうグレードにしていくかということは大事だと思います。公立中学校の悩みとしては、学力上位者が私立中学に進学する割合が高く、学力向上という問題に腐心しています。しかし全国レベルを超える勢いで学校は頑張っていることについては、熱い期待をもっております。色々な可能

性や選択ができる豊島区の教育条件は、さまざまな学力や特性や社会性を身につけていく質の高い教育を求めているといえます。進路指導においても、子どもたちの生き方教育を小学校のうちからしなければいけないと思います。どういう教育を受けたいのかという関心を高めていきながら、教育全体の底上げを考えていくべきです。現在の経済状況から、公立学校への関心は高まっています。各学校の特色を出して、その特色をきちんと説明できるようにして欲しいと思います。

委員)

各学校長は頑張っていると思いますが、人事異動等で学校の状況はめまぐるしく変わってきています。しかし一生懸命やれば、それは子どもたち、保護者にも伝わると思います。学校が取り組んでいることを自信を持って言えるような雰囲気を作っていくことが大事です。情熱ある教員を育て、教員自身が何を頑張るかということを確認励まして、学校を活性化して欲しいと思います。

委員)

竹岡健康学園については、この説明会において説明はあるのでしょうか。

学校運営課長)

全体の説明の中で、竹岡健康学園については小学校長会長から説明があります。また個別相談におきましては、心身の不安に対する相談ということで行っております。

教育指導課長)

竹岡健康学園の入学は小学校3年生からございまして、現在の小学校2年生以上の保護者に対しては、11月23日にバス見学会を行う予定です。ですから、小学校2年生以上のすべての保護者に、竹岡健康学園の案内を発しております。

委員)

豊島区には健康に関する学び舎があるということ、早い段階からお話しておくことは大事だと思います。アンケートの中にも竹岡健康学園を知っている、知らないなどの項目を作っておくと、今後のPRになると思います。これから就学される方に対しては、竹岡健康学園のことを早い段階からお知らせし、認知していただくといいと思います。

委員長)

豊島区の小学校もそうですが、特に豊島区の中学校に行くところのような教育が受けられるか、将来にどのように繋がるかということを区民に説明できるように、もう一度話し合った方がいいと思います。今回はこれにて終了させていただきますが、再度近いうちに時間を取りたいと思います。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

#### (4) 報告事項第2号 新型インフルエンザの対応について

< 学校運営課長 資料説明 >

委員長)

ご質問等がありましたらお願いいたします。

委員)

何校か学校訪問をさせていただきましたが、現場でも早めに対応をしているということで、一度学級・学年閉鎖をしたところで再発したところはないようです。早めの対応が効果を生み出していると思います。中学校の修学旅行に関しても、中止することなく実施されているということで安心しております。このまま気を緩めず、引き続き対応をお願いいたします。

委員長)

それではよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(5) 報告事項第3号 新型インフルエンザによる学年・学級閉鎖に伴う授業時数の確保について

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

差し迫って授業時間が確保できない学校があるということでしょうか。

教育指導課長)

大体4日間休みですと、小学校の場合は1日5、6時間ですので20時間前後が欠時数になりますが、1番少ない学校で22時間など余剰時間がございます。年間計画の中では足りるとなっておりますし、休んだ分は他の日を4時間から5時間にするなどの努力をしていけば、余剰を使わずに済みます。10月1日については、インフルエンザのピークの時期になると考えられますので、安易にここで認めると逆効果になる場合があります。今回は慎重にやっっていこうということで、差し迫っての相談はございません。

委員)

学年によってばらつきがあると思います。6年生が心配です。ただでさえ高学年は授業時数の余剰が少ないので、6年生で学年、学級閉鎖が起こった場合、取り返しがつかないということにならないように前もって対応策を考えておく必要があると思います。

委員長)

それではよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

教育長)

傍聴に関してですが、開かれた会議ということで教育委員会は公開をいたします。私どもは真剣に案件を協議していますので、傍聴者が携帯電話を触ったり、居眠りをしたりしている傍聴態度は目に余るものがあります。傍聴の当然のマナーとして、傍聴条件をきちんと守っていただきたいと思います。

(6) その他

絵画の寄贈について

東京都教育委員会環境教育優良校表彰について

幼稚園・小学校・中学校予算要望

(午後5時20分 閉会)

